

2025年12月1日

日本製鉄の低CO₂鋼材 GXスチールを採用し、環境負荷低減に貢献 鋼製重量ドア「YAGドア green flag」を新発売

三和シャッター工業株式会社(本社:東京都板橋区/社長:高山 盟司)は、鋼製重量ドア「YAG[®]ドア」に、日本製鉄株式会社(以下、日本製鉄)が提供するGXスチール「NSCarbolex[®] Neutral(エヌエスカーボレックスニュートラル)*」を採用し、12月1日より発売します。

近年、脱炭素社会の実現に向けた取り組みが加速する中、三和シャッター工業も、環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。

「YAGドア」は、板厚1.0mmの表面材をレーザー工法で組み立てることで、一般の鋼製重量ドアに比べ鋼材の使用量を約45%低減し、軽量化と省資源化を実現した商品として、ご好評いただいております。この度、新たな取り組みとして「YAGドア」に、日本製鉄の低CO₂鋼材であるGXスチール「NSCarbolex Neutral」を、採用しました。

鋼材使用量の低減により、扉1枚あたり約72kg-CO₂(当社試算:W800mm×H2,000mm、片開き、窓・ガラリなし)を削減していますが、今回のGXスチール採用により、更にプラスして約67kg-CO₂の排出量削減を実現しました。



【GXスチール採用によるCO₂削減量は、三和シャッター工業より「CO₂削減属性証明書」を発行します。】
三和シャッター工業では、環境配慮型素材を採用した商品に green flag を掲げ、環境負荷低減の取り組みを積極的に推進してまいります。

三和グループでは、2022年5月に公表した「三和グローバルビジョン2030」において2050年へ向けた“事業活動に伴うCO₂排出量実質ゼロを目指す”カーボンニュートラル方針を定めています。カーボンニュートラル社会実現のためには、自社のみならずサプライチェーン全体でのCO₂排出量削減が必要となります。Scope3のカテゴリー1におけるCO₂排出量削減に貢献する、低CO₂鋼材 GXスチールを採用した「YAGドア」の提供を通じ、新たな価値創出および社会の持続的発展に貢献します。

今後も商品ライフサイクル全体で環境負荷を低減した商品開発を推進し、CO₂排出量の削減に積極的に取り組んでまいります。

◆対象商品名 YAGドア/YAGドア戸袋付防火ドア/BL鋼製重量マンションドア green flag

◆発売時期 2025年12月1日

※日本製鉄が実施した追加性のある削減プロジェクトによるGHG(Green House Gas 温室効果ガス)排出削減量又はCO₂排出削減量を組織内でプールし、その削減量を任意の製品に配分して証明書と共に供給する鉄鋼製品であり、一般社団法人日本鉄鋼連盟が制定するガイドラインに準拠しています。

NSCarbolex Neutral について(日本製鉄ウェブサイト)

<https://www.nipponsteel.com/product/nscarbolex/neutral/>

シンボルマーク及びNSCarbolexは日本製鉄株式会社の登録商標です。

